

花の寄せ植え体験教室（ボランティア養成講座）

11月19日（火）にボランティア養成講座「花の寄せ植え体験教室」を今年度も佃農園で開催しました。



恒例となったボランティア養成講座「花の寄せ植え体験教室」を今年度も佃農園にて開催することができました。

御主人が体調を崩され、開催できるか心配しましたが奥様の全面的なバックアップにより開催することができました。各小中学校から先生方、地域学校協働活動推進員、地域ボランティア、合わせて23名の参加があり、色とりどりの花々に心を癒される約1時間半を共有することができました。今回の講座は主として奥様が講師として花の寄せ植えについてご指導いただきました。

参加者はそれぞれに思い思いの寄せ植えを作り上げていました。そして、互いに各々の出来栄を眺めておられました。出来上がったプランターは各学校への寄贈となります。その後は、個人用のプランターを注文された参加者は再び花鉢の制作に打ち込んでいました。また、花苗を購入される参加者も見かけました。寄贈した花鉢はきっと各学校の玄関等を美しく飾ってくれると思います。

また、今回の講座に参加された先生方に花作りに興味を持っていただく一助になれば幸いです。



網田中学校の取組から 先月、網田中学校の宇城教育事務所学校訪問があり、午後から「地域連携部会」に参加しました。以前から学校と地域のつながりの強さは十分承知していたつもりでしたが、部会参加者の多さに郷土愛の強さを改めて実感することができました。

意見交換の中で「網田産みかんを使ったアイスの販売」の取組の紹介があり感心しました。中学生が農業体験を通して廃棄される年間1トンのみかんの活用法について検討します。生徒たちは地域おこしの視点を常に持っているのです。結果、山鹿市の株式会社パストラルの協力を得て3種類のアイスを完成させます。更に博報堂プロダクツ九州支社の支援を受けてアイスの商品名を考えて実際に自作のアイスを販売します。7年生～9年生（中1～3年生）が組織的かつ系統的な取り組みで地域おこしを体現していきます。そして、今年度はネーブルを使ってのアイス作りに挑戦しています。その実践に地域の未来を担う子供たちの姿が現れているように見えます。そして、その様子を温かく見守られる地域の方々がたくさんおられます。つまり、中学生が地域のためにできることを模索してその実現のために地域や関係機関と深く関り、達成感を味わう取組はまさに地域学校協働活動のねらいに合致する素晴らしい実践だと思います。

地域学校協働活動は、学校と地域が連携・協働して双方向で取り組む活動です。